

発行日：平成28年2月23日

担当：会員サービス課 service@niigata-cci.or.jp

〒950-8711 新潟市中央区万代島5番1号 万代島ビル7階

URL <http://www.niigata-cci.or.jp> E-mail office@niigata-cci.or.jp

力を結集し、新潟の更なる飛躍を誓う！ ～平成28年新年祝賀会に約1200名が参集～

平成28年新年祝賀会を、1月5日、ホテルオークラ新潟において、過去最高となる約1,200名の参加で開催しました。今年創立120周年を迎えるにあたり、福田会頭は決意も新たに、全力で地域の発展に取り組んでいきたいと挨拶しました。その後は、泉田県知事、篠田市長、地元選出国會議員の祝辞や、三村日商会頭からの祝電披露に続き、古町芸妓連の舞の鑑賞、賀詞交換を行うなど、大盛況となりました。

来年4月には消費税率が10%に引き上げられることに加えて、我々が反対していた複数税率が導入されることが決定しました。商工会議所としては、中小企業や小規模事業者が混乱なく円滑に準備が進められるよう情報提供に努めるとともに、必要に応じて支援策などを関係機関に働きかけてまいりたいと思います。

また、昨年11月に経済産業大臣の認定を受けた当所経営発達支援計画に基づき、小規模事業者の持続的発展に向け、技術の向上や新たな事業分野の開拓などに対する支援を強化していきたいと考えております。

さらに今年は、G7新潟農業大臣会合が4月に開催されるほか、昨年国内推薦が見送られた佐渡金銀山の世界遺産登録に向けた取組みも引き続き行っていきます。今年も様々な事業が新潟で行われますが、関係機関の皆様と連携を図りながら、地域の発展に向け全力で取り組んでまいり所存です。

なお、昨年の11月時点における当所の会員数は4402社となり、過去最高となっております。「パワーアップ5000運動」を継続し、一日も早い5000会員達成を目指して活動していきますので、皆様のより一層のお力添えをお願い申し上げます。

〈福田会頭挨拶要旨〉

皆様、あけましておめでとうございます。年頭に当たり謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

本日はご多忙中にもかかわらず、泉田知事、篠田市長をはじめ、ご来賓の皆様、そして多くの会員の皆様、総勢約1,200名の方々から、ご出席をいただきまして誠にありがとうございます。心から感謝を申しあげる次第です。

これまで多くの皆様に支えられて、今年、新潟商工会議所は創立120周年を迎えることとなります。これを記念しまして、会員大会等、皆様から喜んでいただけるような記念事業を検討していきたいと考えておりますので、是非とも多くの皆様からご参加をいただきたいと思っております。

さて、最近の景況ですが、地方では景気の回復が未だに実感できない状況が続いております。

●パワーアップ5000推進委員会による

会員増強運動

●古町芸妓連による祝舞披露

★★★ 今月のテーマ 《 助成金を活用していますか？ 》 ★★★

今月は、厚生労働省関係の助成金についてお伝え致します。雇用保険関係の助成金は約 25 種類と、非常に種類が多いですし、制度の変更も毎年のようにあるので、どの助成金が自分の会社で使用できるのか、わからない場合も多いと思います。その中でも、2月10日より支給金額が増える助成金をご紹介します。名前は、『キャリアアップ助成金』といいます。

・キャリアアップ助成金の内容は？

キャリアアップ助成金の対象となる従業員は、正社員以外の従業員です。いわゆる、パートタイマー、アルバイト、契約社員といった方々です。キャリアアップ助成金には、数種類のコースがあるのですが、今回は、2つのコースをご紹介します。

1.人材育成コース

→期間の定めのある従業員等に、職業訓練を行った場合、事業主に助成があります。3～6ヶ月の職業訓練計画を作成した上で、訓練を行う必要があります。

1時間あたりの賃金助成 800円（※中小企業の場合の額）です。その他、会社が負担した訓練に関する経費も、訓練時間に応じて助成されます。

《訓練の計画例》職業訓練期間：6ヶ月、1日4時間の訓練を月20日間行った場合

→4時間×20日×6ヶ月=480時間→480×800=384,000円の賃金助成が受けられることとなります。

2.正規雇用転換コース

→契約期間に定めのある従業員等を正規雇用等に転換した場合（※いずれも中小企業の場合の額）

①有期雇用→正規雇用 一人あたり60万円（改正前50万円）

②有期雇用→無期雇用 一人あたり30万円（改正前20万円）

③無期雇用→正規雇用 一人あたり30万円（改正前30万円）

上記の項目でもわかるように、期間の定めのある従業員を正社員に転換する場合（①有期→正規）が、助成金額も大きいです。また、正社員への登用を行う場合の要件について、事前に就業規則等に『どういう場合に正社員へ転換するのか？』を定めることが求められます。

（従業員が10人未満の会社でも、この助成金を申請する場合は、就業規則等の作成が必要になります。）

例えば、正社員への登用条件（例：勤続期間1年以上、筆記試験70点以上、面接試験に合格など）や、登用の時期（例：毎年4月1日など）について規定に盛り込まなければなりません。

ここで、お気づきの方もいるでしょうか？上記2つのコースは、組み合わせることが可能です。

例：6ヶ月の職業訓練を実施→訓練の評価が高得点→正社員への転換、という流れです。

・事前の計画申請が必要です。

キャリアアップ助成金の受給には、新潟労働局助成金センターへの事前の計画申請が必要です。助成金申請の要件となっている書類を作成する時に、時間を要することもあるので、相当前から準備が必要な場合もあります。

また、計画通りに実施した後の、支給申請の締め切り日を意識することも大切です。支給申請の期限日を1日でも過ぎてしまったら、支給申請は受け付けてもらえないからです。

『うちの会社に、アルバイトで来ていたフジオカ君が非常に優秀なんですよ～。昨日から正社員として働いてもらっているんです。たしか、アルバイトを正社員に登用すると、対象になる助成金があると言ってましたよね？』

『えっ…！事前に計画申請を、正社員に登用予定の最低1ヶ月前までに、提出する必要があるのです…。正社員に転換した後では…対象にならないんです…。』ということがないように事前の準備が大事です。

(もし、フジオカ君を、4月1日に正社員登用をする場合は、2月末日までにキャリアアップ計画書を提出する必要があります。)

尚、厚生労働省関係の助成金は、春(4～5月)頃に、新しい助成金が発表されることが多いです。これからの時期は、情報収集も大切になってきます。『厚生労働省 助成金』で、定期的に検索をかけてみることをお勧め致します。ぜひ、助成金の活用を、ご検討いただきたいと思います。

☆詳しい内容については、労務管理の専門家にお聞き下さい！新潟県社会保険労務士会ホームページ <http://www.sr-niigata.jp> ☆

坂本 光司/さかもと・こうじ

1947年生まれ。福井県立大学教授、静岡文化芸術大学教授などを経て、2008年4月より法政大学大学院政策創造研究科(地域づくり大学院)教授、同静岡サテライトキャンパス長および同イノベーション・マネジメント研究科兼任教授。ほかに、国や県、市町、商工会議所などの審議会・委員会の委員を多数兼務している。専門は中小企業経営論・地域経済論・産業論。著書に『日本でいちばん大切にしたい会社』(あさ出版)、『この会社はなぜ快進撃が続くのか』(かんき出版)など。

「地域のライフラインを守った『マルト』」

福島県いわき市に「株式会社マルト」という会社がある。主な事業は食品スーパーやドラッグストアの経営。福島県と茨城県が主な営業エリアである。

非正規社員を含め2000人を超える社員を擁しているにもかかわらず、徹底した地域密着で依然創業の心を大切にしているのが特長である。いわき市では、食や薬で「マルト」の存在は非常に大きく、欠かせないものとなっている。

また、その業績もすこぶる好調で、この10年間でもリーマンショックの影響が大きかった平成22年を除き、その売上高は右肩上がりである。好調な要因は多々あるが、あえて一つだけに絞ると、「三方良しの経営」が創業以来貫かれているからである。同社の事業目的は「マルトの使命」として明確に示されている。そこには、「マルトは地域のライフラインを守ることが使命と誇りです」とある。また、社には「商売とは心からありがとう、といってくれるお客様という名の友人をつくること」とある。事業目的には、業界で一番になるとか、規模を大きくするといった言葉は一言もないのだ。

近年、社是や経営理念で立派なことを掲げている企業は増加傾向にある。しかし、その目的を果たすための実際の行動はと言うと、首をかしげたくなる企業が正直に言って多い。その一方で、同社は創業以来、愚直一途に、掲げた使命と社是に基づく経営を続けてきたのである。

その一例を紹介する。それは、あの東日本大震災時の対応ぶりである。あの大地震で、マルトも、ほとんどの店舗で商品が散乱し、店舗の壁が損壊するなど、10億円以上の被害に遭った。そればかりか、通信網も甚大な損害を受け、本社と店舗の回線も不通となってしまったのだ。しかしながら、マルトの店舗は、あの3月11日の大地震直後の16時には、1店舗が営業を再開、翌12日には、残りの大半の店舗も再開した。被災を免れたり、大きな損害の無かった店舗の社員が自主的に出社。安全な場所で着の身着のまま、店舗の周りに集まって、地域住民のために店舗を再開したのである。

聞くと、全国チェーン店でも、再開するまで数週間を要しており、この対応の速さは異例で、地域住民も絶賛したという。そればかりか、自宅が倒壊し、困っている地域住民のために店舗を開放したという。いやはや驚くべき対応である。

以前、なぜこんなにも早く再開できたのかを、店舗のスタッフから聞いたが、そのスタッフは次のように答えてくれた。「寒く不安な中、店の前に飲料や薬、そしてトイレトペーパーやオムツなど、生活必需品を求めて列をつくっている友人であるお客さまの姿を見て、自宅から吹っ飛んできました。ただただ役に立ちたい一心でした。『マルトの使命・マルトの社是』通り行動をただけです」と。「正しい経営は決して滅びない」を証明してくれるいい企業である。



万代くんとつばさくんの
“ロダン・タイムズ”
税理士：八百板 誠

特別名勝を巡る【東京編】
東京3か所の一つ／全国36か所
六義園



皆さんは、仕事や遊びで東京に行くことがありませんか？西銀座チャンスセンターをご存知ですか？ジャンボ宝くじを買うのに3時間くらい並ぶことで有名な場所です。

今回は、30分前後並んで、ジャンボ宝くじを購入する裏技を伝授します。裏技には時間調整が必要、そこで特別名勝ツアー（六義園）をご紹介します。

**【その1】 東京都にある特別名勝3つ
その中から六義園を紹介。**

東京都にある特別名勝は、旧浜離宮・六義園・小石川後樂園の3つです。この中でも、六義園を訪ねることが次の理由から多くなります。

- 山手線（地下鉄南北線）駒込駅から徒歩2分（染井門口）と駅から近いこと。
- 車で行くと六義園裏側道路（染井門口）に穴場のコインパーキングがあること。
- この庭園を見た後に、ドリームジャンボ宝くじを買いに行くこと。

**【その2】 特別名勝 六義園は、
『ろくぎえん』にあらず。**

この園の名称は、『りくぎえん』とよみます。これびっくりぽんだすなあ。（試しに『りくぎえん』と入力変換すると『六義園』と変換されます。）

東京での名園を楽しみたい人は、次のホームページを見てください。東京都公園協会→『庭園へ行こう』をクリック→九つの庭園紹介をしています。（当然ながら特別名勝3つとも紹介されています。）

5代将軍から下屋敷として、柳沢吉保自らが設計した庭園と聞くと、水戸黄門の悪役イメージを払拭し、静かに庭園鑑賞を楽しめます。

**【その3】 庭園を見た後の、
ロダン君向かうところ。**

六義園は、春と秋にライトアップも楽しめますが、ロダン君は見たことがありません。なぜなら、夕方になると、西銀座チャンスセンターに向かうためです。

行列は、ジャンボ宝くじ発売期間後半の土曜日夕方6時を過ぎると短くなります。

（夕ご飯の時間なので、空いていると思われます。）
こだわりの購入方法は、『たてバラ』です。興味ある方はネット検索ください。

**【その4】 都内の土曜日19時頃は、
居酒屋難民となります。**

都内で19時頃、予約をしないで居酒屋の繁盛店を探すのは苦労します。（チャンスセンターの行列は、時間が分からないため、予約をしません。）そこで、次の条件を考えます。

- 開店が17時前からやっており、
- お客の回転率が良い居酒屋
- 徒歩圏内

この条件を満たす居酒屋エリアは、銀座八丁目です。（ソニービルを目印に向かいます。）

まずは、おでんの『お多幸（おたこう）』を目指します。大正10年からの老舗店舗。土曜日は16時から営業しております。店舗は、2階まであり、おでん屋では珍しい大箱の居酒屋です。行列が10人以上いたら、即あきらめます。

次に向かうのは、新橋駅周辺に11店舗展開『俺の株式会社』グループのお店。（俺の割烹、俺のイタリアン、俺のフレンチなど）各店舗の共通スタイルは、安くて良いものを、お客さんの回転率で提供。ちょっと、窮屈感とガヤガヤを気にしなければ、お得感を味わえます。

予約サイトが導入されたようで、行列は少なくなったようです。お店のジャンルと行列人数を見て、ご判断ください。

最後に銀座は、8丁目までなのに、銀座9丁目を名乗る店舗が、新橋駅周辺で見かけます。『銀座9丁目は水の上』という歌謡曲の中で、『銀座9丁目は水の上、今宵は船で過ごしましょう……。』洒落た歌です。洒落をきかせた店名ですが、銀座にあるわけではなく（新橋）なのに。銀座気分を味わってとの思いがあるのかも知れませんね。

業況DIは、足踏み続く。先行きも不透明感から慎重な見方崩れず

日本商工会議所が29日に発表した1月の商工会議所L O B O（早期景気観測）調査結果によると、1月の全産業合計の業況DIは、▲19.4と、前月から▲2.2ポイントの悪化。人手不足や人件費の上昇が足かせとなる中、中国経済の減速、個人消費の鈍さなどに伴う売上減少に加え、年明け以降の株価・為替の不安定な推移が中小企業のマインドを下押ししている。ただし、「好転」から「不変」への変化も押し下げ要因となったほか、観光需要や自動車関連などは堅調に推移しており、実体は、昨年秋頃からの足踏み状況が続いている。

先行きについては、先行き見通しDIが▲18.7（今月比+0.7ポイント）と、ほぼ横ばいを見込む。春節などに伴う観光需要や住宅投資による下支えのほか、原油安を背景とする原材料、燃料などの価格下落に伴う収益改善を期待する声が聞かれる。他方、新興国経済の減速や株価・為替の不安定な推移、人手不足の影響拡大などにより景気の不透明感が増す中、中小企業においては、先行きに対する慎重な見方が続く。

詳細は、日商ホームページ（<http://www.jcci.or.jp/lobo/lobo.html>）を参照。

第5回 新潟市障がい者雇用支援企業ネットワーク“みつばち” 障がい者雇用セミナー

『三重の障がい者雇用から学ぶ』

【日時】平成28年3月2日（水）
14:00（開場 13:30）

【会場】新潟日報メディアシップ6階ナレツジルーム

【参加費】無料 【定員】50名

【プログラム】

第1部 講演「三重の障がい者雇用の取り組み」

講師：名張市障害者人材センター 水本清知氏

第2部 グループ討議

障がい者雇用について、グループにわかれて話し合います。※第1部のみの参加もOKです。

●講師紹介 水本 清知 氏
大手百貨店勤務の後、三重県教育委員会就労支援コンシエール。現在は名張市障害者人材センターで障がい者の就労支援にあっている。



【お申込み・お問い合わせ】

●参加対象
事業主、人事担当者、企業を支援できる関係者

●お申込み先 新潟市障がい福祉課就労支援係
Tel.025-226-1249